

## 第 15 回ひびき薬剤耐性菌シンポジウム開催のご案内 Ver. 180403

ひびき臨床微生物研究会の学術集会「ひびき薬剤耐性菌シンポジウム」は第 15 回を迎えることとなりました。会員の皆様に限らず抗菌薬耐性菌にご関心をお持ちの方々の多くのご参加をお待ちしております。詳細につきましては、ホームページ上で随時更新しますので、そちらをご覧ください。

[http://www.geocities.jp/hibiki\\_hrgcm/](http://www.geocities.jp/hibiki_hrgcm/)

会期：2018 年 6 月 16 日(土) 12:00 ～ 17 日(日) 14:00

場所：民営国民宿舎「ひびき」

〒811-3512 福岡県宗像市鐘崎 79-6 TEL.0940-62-1288

主な内容 (予定)

### 1. ワークショップ 「薬剤耐性菌情報の報告」

耐性菌が検出された場合の報告書でのコメントおよび臨床への連絡方法など各施設の状況を報告してもらう。

小倉記念病院 白濱 智美

顯田病院 長崎 雅春

福岡医師会検査センター 星 紫織

その他 2~3 施設予定

### 2. 教育講演

1. 変更された菌名について 村谷哲郎

2. 抗酸菌検査法について

### 3. ランチョンセミナー 村谷哲郎

1. CRE/CPE 北部九州・山口地区の現状とスクリーニング法について

2. 未定 (仮題)

### 4. 会長講演 細菌検査ビギナーのためのグラム染色の話

～わたしはこんな事を考えながらグラム染色を鏡検しています～ 有馬純徳

### 5. ひびき臨床微生物研究会サーベイ 第 11 回(2018 年)結果報告

### 6. 一般演題 6 演題予定

### 7. 企業セミナー 10 枠予定 先着順

### 8. ナイトセミナー

### 9. その他

ひびき臨床微生物研究会総会を 6 月 16 日(土) 15:00 頃を予定しています。

会費：参加のみ ¥5,000 (ひびき臨床微生物研究会正会員のみ ¥ 3,000)

懇親会まで ¥10,000 (ひびき臨床微生物研究会正会員のみ ¥ 8,000)

宿泊参加 (懇親会を含む) ¥12,000 (ひびき臨床微生物研究会正会員のみ ¥10,000、準会員、賛助会員の割引はありません。)

参加申し込み締切日 2018 年 5 月末日

事務局までメールにてお申込みください。準備の都合がありますので、参加予定の方はなるべく早くお申し込みください。100 名に達し次第締め切らせていただきます。キャンセルおよび変更は 6 月 11 日(月)まで可能です。なお、〆切を過ぎても空きがあれば随時参加受付いたします。

ひびき臨床微生物研究会事務局：hibiki\_hrgcm@ybb.ne.jp

第 15 回ひびき薬剤耐性菌シンポジウム 会長 有馬純徳

ひびき臨床微生物研究会 会長 村谷哲郎

学術集会事務局 木戸直徳



## 第 15 回ひびき薬剤耐性菌シンポジウム

会期：2018 年 6 月 16 日(土)12:00 ～ 17 日(日)14:00

場所：民営国民宿舎「ひびき」

〒811-3512 福岡県宗像市鐘崎 79-6 TEL 0940-62-1288

### 一般演題ならびに企業セミナー募集要項

耐性菌に限らず臨床微生物、感染症に関連するものであれば OK です。

一般演題は質疑応答を含め 15 分とします (6～8 題予定)

企業セミナーは総説的な話題や自社製品の紹介なども含みます。

企業セミナーは 1 枠 15 分、30,000 円 (ひびき臨床微生物研究会賛助会員は 10,000 円)  
10 枠を予定しています。

演題の申し込および不明な点に関するお問い合わせは下記へのメールにてお願いいたします。

[hibiki\\_hrgcm@ybb.ne.jp](mailto:hibiki_hrgcm@ybb.ne.jp)

#### 申し込み方法および期限

5 月 21 日 (月) までに、メールにて「演題名および発表者連絡先 (e-mail)」をお知らせください。

抄録は 6 月 9 日 (金) までに、メールにてお送りください。

1 行 44 文字、40 行、11 ポイントで、A4 用紙 1 枚に納まれば OK です。図表なども可です。

#### 参加費振込先

銀行名 西日本シティ銀行 城野支店

種別 普通

口座番号 3247530

口座名 第 15 回ひびき薬剤耐性菌シンポジウム 会計担当 木戸直徳



## 第 11 回ひびき臨床微生物研究会サーベイのご案内

第 5 回ひびき薬剤耐性菌シンポジウムの際に和田会長が始めた耐性菌に特化したサーベイです。今一度本サーベイ実施の原点に戻るべく、第 1 回のご案内時の主旨を下記に示しました。とにかく点数をつけるなど評価をすることが目的ではありません。まれではあるが重要な耐性菌、今後遭遇するかもしれない耐性菌に触れていただき、本番で慌てない、見逃さないよう役立てていただくことが目的です。

### 第 1 回ひびき臨床微生物研究会サーベイ

現在、実施されています既成のサーベイは、いろいろなしがらみがあり、サーベイなのに本当の意味でのサーベイになっていないような気が以前からしており、本音でできるサーベイをどこかでしたいと思っていました。

サーベイの本来の目的は、正しい結果を出すことではなく、ルチンで実施している方法でどのような結果が出るかを検証し、間違っている場合はその原因を考え、改善していくことだと考えています。通常と違う方法で実施したり、他の施設に答えを聞いたりするサーベイは意味がありません。

したがって、サーベイと意識せずルチン検査と同じように実施して自施設の検査方法で本当に耐性菌が検出できるのかを確認する場となるようなサーベイとしたいと思っております。

気負うことなく気楽に参加していただきたいと思っています。間違いを責めたりするのではなくどこで違ったのかを学び、みんなで耐性菌を見つける力を高めていきましょう。(精度管理サーベイと考えてください。)例えば、1 つの施設で、複数の方が別々に参加していただいてもよいと考えています。

サーベイ検体は 3 検体を予定しております。同定および感受性検査を予定しています。

このサーベイの結果を宿泊研修会の時に報告したいと思っています。

菌株はゴールデンウィーク明けに配布予定です。

3～5 株を予定しています。

参加希望者は、ひびき臨床微生物研究会事務局まで「第 11 回サーベイ参加希望」と記載して、送り先を明記のうえお申し込みください。会員は参加無料です。

[hibiki\\_hrgcm@ybb.ne.jp](mailto:hibiki_hrgcm@ybb.ne.jp)

ひびき臨床微生物研究会 会長 村谷哲郎